

草木奇品家雅見 卷之上



まがひつらたぢぢぢ

かりん小葉しい

まがひつらたぢぢぢ

とつらの殿
よぬちうと
ちよちうと
ちよ

逸言
閑

「松平たちばな」、「松平とべら」、「ふくりん小葉しい」を掲載。
「とべらの斑、上好なること右に出る品なし」と記されている。
「とべら(扉)」も、秋に赤い実をつける。

松平とは、どこの大名か、幕臣か不明であるが、この画を水野忠暁が描いていることから幕臣であろう。
水野忠暁は、500石程度の幕臣であったとされる。(2009.11.23)

Copyright (C)2009 増田信敬 (masuda nobutaka) All rights reserved

出典 「草木奇品家雅見」 文政10年(1827年) 増田繁亭金太 著 架蔵本

(参考文献)

- ・「「草木奇品家雅見」解説」昭和51年 監修者 岩佐亮二、執筆者 塚本洋太郎、前島康彦、笠原基知治、横井政人、広瀬嘉道、芦田潔 青青堂出版
- ・「盆栽文化史」昭和51年 岩佐亮二 八坂書房

<http://soumokukihinkagami.com/>